

特集 2~5面

## 東日本大震災 から1年...



### 水郡線児童絵画展!!



震災復興と水郡線全線開通77周年を記念して行われた「乗ってみよう水郡線児童絵画展」の第二次審査が2月15日共同福祉施設で行われ入賞作品が選ばれました。絵画展には、福島県側の水郡線沿線市町村の小学生から166点が応募され、一次審査を通過した42作品から、加納武夫水郡線活性化対策協議会長、安藤理JR水戸支社水郡線営業所長など7名の審査員によって、部門ごとに金賞、銀賞、銅賞、JR賞、優秀賞、入選の各賞が決定されました。入賞作品は、3月3日から3月末まで、水郡線の車両に展示されます。

- 【写真右上】高学年の部 金賞  
「春を告げよう!われらは進む」矢吹茜さん(中谷第一小5年)
- 【写真右下】高学年の部 銀賞  
「秋を走る水郡線」深谷慎太郎さん(中谷第二小5年)
- 【写真左下】低学年の部 銅賞  
「桜の町 水郡線」小湊 空知さん(沢田小1年)



# 東日本大震災から1年！！

平成23年3月11日午後2時46分。マグニチュード9.0、最大震度7強、石川町でも震度5強（5・1）を観測した東日本大震災…。地震のみならず、原子力発電所の事故による放射能汚染など、私たちの生活が大きく脅かされた震災から今年で1年を迎えます。今月号では、この一年を振り返ります。

## 石川町災害対策本部を設置

地震発生から約15分後の午後3時、町では加納武夫町長を本部長とした災害対策本部を設置しました。午後3時30分に第1回目の災害対策本部会議を開き、被害調査や安否確認を指示し、町内の被害状況を集約しま



▲3月11日、町災害対策本部会議

## 東日本大震災による石川町の被害状況 (2月15日現在)

区分		被害数
人的被害	死者	1名（町外での被害）
	行方不明者	なし
	負傷者	軽傷者4名
物的被害	全壊	1棟
	大規模半壊	7棟
	半壊	21棟
	一部損壊	2,567棟（町内全域） 屋根瓦損壊、壁破損
	道路等	道路陥没等約250か所 漏水（上水道36か所、 沢田簡水3か所）
	非住家被害	倉庫、物置等202棟

した。消防団員などによる町内巡回等により、道路の陥没、法面の崩落、家屋の損壊など地震による広範囲の被害が確認されました。この地震以降相当数の余震が続き、さらに、一か月後の4月11日と12日

には「震度5弱」の大きな揺れを再び観測しました。4月の地震では、役場庁舎など3月の地震でダメージを受けていた箇所が再び破損する被害もありました。また、一連の地震により4名の軽傷者がありました。



## 震災発生からの出来事

- 3月11日
  - 地震発生（石川町 震度5強）
  - 町災害対策本部設置
  - 町公民館に避難所設置（3世帯13名が避難）
- 3月12日
  - 福島第一原発1号機事故
  - 福島第一第二原発周辺の双葉町、大熊町、富岡町の全町民に避難指示
  - 原発事故に係る避難所を総合体育館に設置（214名受入れ）
  - 町内でガソリン等が不足し始める
  - 総合運動公園第二駐車場をがれきの収集場所に指定
- 3月13日
  - いわき市久之浜地区へ救援物資搬送及び給食提供
- 3月11日
  - 避難所を母畑レークサイドセンターへ移す
  - 水郡線、福島交通バスなど公共交通機関が運休
  - 福島第一原発について原子力緊急事態宣言発令
  - 福島第一原発から半径3km以内の住民に避難指示



▲避難所の様子

**最大400人を超える  
町外からの避難者**

3月12日。東京電力福島第一原子力発電所で事故が発生し、浜通り地方の住民が避難を始めました。石川町が県からの避難所設置要請を受け総合体育館で準備を始めたのは午後5時。「約2,000人を超える人が移動中」、「田村市、小野町、平田村と順次避難者の受け入れをしている」という情報以外に詳細がわ



▲寝具、食料など多くの物資が寄せられました

からない中での作業でしたが、暖房や食事など当時出来る最大限の準備を進め、午後8時に受け入れ体制は整いました。午後11時過ぎ、最初の受け入れを開始し、214名の受け入れを終えたのは翌日午前0時半を過ぎていました。翌日以降、次々と避難者を受け入れ、一時は400人を超える住民を受け入れられました。その後、温泉旅館などへの二次避難が進み、4月25日には総合体育館の避難所は閉鎖し、避難所を母畑レークサイドセンターへと移しました。春が終わり、夏が近づくにつれ、二次避難や仮設住宅への入居が進み、町の避難所は6月11日完全に閉鎖となりました。

**避難所を支えた  
皆さんの温かい善意**

最大400人を超える住民を受け入れた避難所には、連日多くの方々から善意の物資が届けられました。また、たくさんのボランティアによる支援活動も行われました。町民の皆さんからの善意の物資は連日寄せられ、種類も寝具のみならず、米や野菜などの食料品、日用品、衣料品、雑貨など様々な物資が届けられ、避難所運営に役立てられました。



**◎町民の皆さんから寄せられた支援物資**

・飲料水（水、ジュース等）	約21,700本
・カップラーメン	約13,100食
・菓子	約19,300食
・寝具	約1,500枚
・衣類	約2,000着
・マスク	約27,000枚
・オムツ	約20,000枚

309の団体及び個人からたくさんの支援物資をいただきました。ありがとうございました。

- 3月14日
  - ・福島第一原発3号機水素爆発
  - ・町外からの避難者が350人に
  - ・東京電力管内の一部が計画停電実施
- 3月16日
  - ・福島第一原発4号機で火災
  - ・町外からの避難者が400人を超える
- 3月17日
  - ・福島原発3号機にヘリで冷却水投下
- 3月18日
  - ・東日本大震災に関する行政区長会議の開催
- 3月20日
  - ・役場本庁舎前で放射能測定開始（0・75μSv/h）
  - ・福島県が県内産原乳の出荷自粛を要請
- 3月22日
  - ・県議会議員選挙の延期が決定
  - ・水道水の放射能の結果公表
  - 上水道ヨウ素 14 Bq/kg
  - セシウム 8・5 Bq/kg
- 3月23日
  - 沢田簡水 検出せず
- 3月26日
  - ・政府が福島県産の葉物野菜の摂取・出荷の自粛を要請
- 3月29日
  - ・避難所にボランティアセンター設置
- 3月30日
  - ・保育所満了式
  - ・児童館満了式
- 3月31日
  - ・小学校卒業式

### ◎町へ寄せられた東日本大震災に係る義援金及び見舞金

- 義援金 108件 (町内 94件 町外14件) 5,666,333円
- 見舞金 10件 (町内 5件 町外 5件) 740,708円
- 配分方法

- ① 避難所への避難者 194世帯 ..... 2,007,000円  
(基本割額 6,000円+加算額3,000円/1人)
- ② 町民の被災者 31世帯..... 930,000円  
(家屋が半壊以上被災 30,000円/1世帯)
- ③ 町内在住の避難者 (第2次避難所、町内知人宅等) 493件 ..... 2,465,000円  
(基本割額5,000円/1人)

※配分後の残額は被災者支援等に充当します。

地震発生以降、衣類、毛布等の支援物資のほか多額の義援金等が町に寄せられました。  
義援金は、町外からの避難者と町内で半壊以上の被害に遭われた方に配分し、残額については、被災者支援等に充当します。

義援金・見舞金などが  
たくさん寄せられました

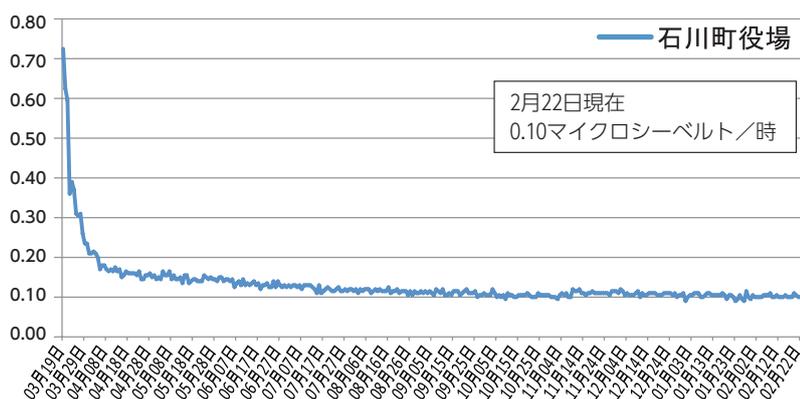
### ◎石川町の地震の回数 (H23.3.11~H24.2.8まで)

震度	回数	発 生 日
1	462	3月(230回)、4月(113回)、5月(27回)、6月(16回)、7月(13回)、8月(19回)、9月(7回)、10月(5回)、11月(7回)、12月(9回)、1月(13回)、2月(3回)
2	230	3月(107回)、4月(73回)、5月(14回)、6月(7回)、7月(3回)、8月(4回)、9月(7回)、10月(6回)、11月(4回)、12月(3回)、1月(2回)
3	45	3月11日(20回)、4月(15回)、5月(2回)、6月(1回)、7月(1回)、8月(1回)、10月(2回)、12月(1回)、1月(2回)
4	8	3月11日(2回)、4月7日、4月11日(2回)、7月8日、7月31日、8月12日
5弱	3	3月11日、4月11日、4月12日
5強	1	3月11日
合計	749	

※石川町役場に設置の地震計の記録に基づく。

3月11日の地震で石川町は「震度5強」の大きな揺れを観測しました。その後も震度3を超える大きな余震が続きました。さらに、1か月後の4月11日と12日には「震度5弱」の揺れを観測するなど余震による不安は続きました。  
現在は、地震の回数は少なくなりましたが、小さい地震は今も続いていますので、引き続き注意が必要です。

地震の発生状況



県は3月18日から役場本庁舎前駐車場で環境放射線の測定を、開始しました。開始当初は0.75マイクロシーベルト/時という高い値を示しましたが、その後徐々に低下し続け、1週間後には0.30マイクロシーベルト/時、1か月後には0.17マイクロシーベルト/時に減少しました。現在は、0.10マイクロシーベルト/時前後の値を示しています。

環境放射線の推移

- 4月1日 避難者に義援金第一次配分
- 4月2日 保育所入所式
- 4月3日 児童館入館式
- 4月4日 旅館等への二次避難開始
- 4月6日 小中学校入学式
- 4月7日 義援金第二次配分
- 4月8日 放射線健康リスク講演会を共同福祉施設で開催
- 4月9日 横綱白鵬関が避難所を慰問
- 4月11日 水郡線運行再開
- (常陸青柳)安積永盛間
- 震度5弱の地震発生
- リ災証明書の発行開始
- 避難者へ雇用促進住宅を開放
- 4月12日
- 震度5弱の地震発生
- 4月16日
- 原乳の出荷制限解除
- 4月25日
- 総合体育館避難所を閉鎖し母畑レークサイドセンターへ移す
- 6月11日
- 避難所を完全閉鎖

震災にも風評被害にも負けない!!

# がんばっぺ石川を合言葉

原子力発電所事故による放射能の風評被害は深刻で、町内の多くの産業に影響を及ぼしました。

農林業では、葉タバコの作付中止、肉牛の出荷・販売停止、野生きのこの出荷制限があったほか、果樹や野菜の価格も下落しました。

商業では、飲食店、関連卸売業者、小売店などの売上が減少しました。

工業では、企業が生産拠点を移転

し、下請け業者の受注が減少しました。観光業では、ホテル、旅館、ゴルフ場、バス業で利用者が大幅に減少しました。

町では、風評被害に対応するため、6月に町内の11団体で構成する「風評被害に伴う産業支援対策会議」を設置しました。

対策会議では、風評被害払しょくに向けたキャンペーン、石川ブラン

ドの確立、土壌モニタリングの実施、各業種への支援、がんばっぺ応援団の募集など各種支援策を実施してきました。

対策会議の活動は、現在も継続して行っており、町内産業と風評被害の払しょくに向けた対応が図られています。

## 主な産業支援対策の内容

### ◆ 商工・観光業への支援

がんばっぺ石川温泉キャンペーン  
宿泊者1名に対し千円を助成  
(H.23.11～H.24.1)

「さくらカード」15%プレミア補助  
(H.23.7、H.23.12の2回実施)

### ◆ 農林業への支援

- ・ 農家経営安定資金保証料支援
- ・ 食品放射能測定機器購入による農産物の測定

## ◎風評被害克服キャンペーン◎

- 6月21日 風評被害に伴う産業支援対策会議の設置
- 7月 8～ 9日 福島県中部観光協議会  
首都圏観光物産キャンペーンin大山商店街  
(東京都板橋区)
- 7月 9～10日 第32回あらかわの伝統技術展  
東日本震災被災地支援フェア (東京都荒川区)
- 7月21～22日 福島県八重洲物産交流館  
石川町観光物産フェア (東京都中央区)
- 8月26～27日 第22回中央区大江戸まつり盆踊り大会  
(東京都中央区)
- 9月24～25日 オクノテマルシェ (東京都荒川区)
- 10月 1～ 2日 花もみもある福島フェア (東京都荒川区)
- 10月22～23日 東日本大震災支援・福島復興祭  
(東京都台東区)
- 11月 5日 隅田川駅貨物フェスティバル2011  
(東京都荒川区)
- 11月12日 交流都市フェアin日暮里 (東京都荒川区)
- 11月26日 食と花のフェスタ (川崎市北部市場)
- 11月27日 オクノテマルシェ (東京都荒川区)
- 12月 3～ 4日 「町イチ!村イチ!2011」東京国際フォーラム
- 12月25日 中央区箱崎町ウインターフェスティバル  
(東京都中央区)
- 2月 4日 緑のマルシェ (東京都中央区)



▲2月4日 東京都築地で開催された緑のマルシェ

- 6月21日 産業支援対策会議設置
- 6月22日 義援金第三次配分
- 7月 〃 さくらカードプレミア商品券発行
- 7月17日 東日本ロードクラシック石川大会
- 8月7日 放射能健康リスク講演会を総合体育館で開催
- 9月7日～9日 保育所・児童館園庭の除染
- 10月 農産物等の放射能測定開始
- 10月9日 震災復興・商業復興がんばっぺ石川2011産業交流祭
- 11月 〃 がんばっぺ石川温泉キャンペーン開始
- 〃 各行政区で除染活動開始
- 12月 〃 食品等の放射能測定開始
- 〃 さくらカードプレミア商品券発行
- 〃 小中学校校庭の表土改善事業実施
- 12月29日 キャンドルナイトin石川
- 1月25日 トップランナーSHIRKAWA新春座談会

# トップランナーISHIKAWA新春座談会



仲田茂司氏  
(有)仲田種苗園社長



酒井秀樹氏  
(株)お菓子のさかい社長



渡邊忠栄氏  
(株)八幡屋社長



鈴木崇義氏  
(有)鈴木畜産社長

安全安心な「石川ブランド」の確立と地域から元気な情報を発信することを目的に、風評被害克服に取り組むトップランナーISHIKAWAプロジェクトの一つとして開催した「トップランナーISHIKAWA新春座談会」は「石川ブランドの再生」をテーマに1月27日、母畑温泉八幡屋で行われました。

## 第一部 風評被害への取り組みについて

**司会** 今日は石川ブランドの再生をテーマに、魅力ある地域をつくるため、皆様からご意見をいただきたいと思ひます。

**仲田** トップランナーISHIKAWAという名前は、駅伝の第一走者という意味で、比較的地震の被害や放射能の影響が少ない石川町が第一走者として走り、福島復興を引っ張って行くという意味で付けました。これまでの活動は、議会、役場が先頭に立ち首都圏での展示即売会などにおいて石川町をPRし、第一走者として区間賞並みの走りをしたと思ひます。

国の予算では、約18兆円が投入されると言われていますが、今年度、来年度で底を突いて3年目ぐらいからグッと少なくなると言われています。地場産業の育成や美しいまちづくりはどう結びつけるか、この1

年が最大の勝負であり分岐点であり、町が発展するか衰退するかはこの1年にかかっていると思ひます。トップランナーISHIKAWAの次の

この1年が勝負であり、分岐点  
17,000人が一つになり一歩を

賠償金の戦略的活用で前向きに展開

います。韓国が政府の中にブランド局を作ったように、石川町にも集中徹底して情報を発信するシステムを作り、みんなの力で取り組みれば必ず全国の人に伝わると思ひます。今は、一人の100歩より100人の一歩という形ではやる時ではないでしょうか。17,000人が一歩ずつ踏み出せば凄い力になると思ひます。今、経営者の方たちと一緒に石陽塾とい

ステップとしては、そういうものにとりやって積極的に関わっていくかだと思ひます。

**酒井** 多分、福島は去年負のブランドイングでは世界で最も有名になったブランドだと思ひますが、それをどうやってプラスのブランドに変えるかが大切だと思ひています。石川町の人口は17,000人程ですが、今が全員で一つになれるチャンスだと思ひます。全員が一つのこと集中出来れば凄い力になると思ひ

う塾を開催し毎月勉強していろいろな方向性を模索しているところですが、今私達大人がどういうことをやっているのかを子ども達や町民の方々に情報を流すことが大切で、それが元気の源になり外へも繋がるのではないと思ひます。

**渡邊** 私たちの業種は、今回の震災と原発事故による風評被害を受けました。回復するまでには3〜4

年かかるだろうと思ひ、ダウンサイズして生き残ることが先決だと思ひてやってきました。震災以降売り上げが前年対比で5割になる中で、リーダーとなってくれる地域のみなさんなどのリードがあつて存続できていると感じています。さらに、大きな力となったのが町の元気アップキャンペーンです。11月から3か月のキャンペーンのお陰で、秋には50%を切っていた対前年比が、キャンペーン期間中は91%にまで回復しました。また、温泉組合が一丸となって東電からの賠償を獲得することもでき、今後は賠償金をどう戦略的に生かして利用するか、前向きな発想の中で商品作りに取り組み、震災の影響を受けて落ちた評判の回復に向かって前向きに展開していきたいと思ひます。

### トップランナー ISHIKAWA プロジェクトとは

地震や放射能被害が軽微な石川町が安心安全の「石川ブランド」の確立をめざし、元気地域から情報発信を行い、福島復興を牽引しようと、町と風評被害克服に取り組む町内有志が「トップランナーISHIKAWAプロジェクト」を昨年7月から始め、首都圏において石川町のPRに取り組んでいます。

特集



加納武夫  
石川町長



大野峯氏  
石川町議会議長



芥川一則氏  
福島工業高等専門学校教授



東山雅広氏  
(有)販売企画研究所代表

**東山** 原発事故以降、福島県の農産物、食糧が全国的に拒否される問題が発生し、私はNPOと一緒に被災地支援や生産者の支援に取り組み、浅草寺で開催した福島復興祭では石川町と一緒に農産物販売や観光PRを行いました。福島県に対する反応は二極化しており、しっかり検査したものでない問題ないと受け止める方が3割、疑問が残るものならパスという方が7割いますが、復興祭では激励の言葉を沢山いただきました。しかし、月日が経ち福島県の震災、生産者支援が忘れられてきて、

みんなが一つになれば海外へも可能  
風評被害払拭の戦略を立てた行動を  
世界のフクシマを逆手に世界戦略

鈴木 東山 芥川

いますので、しっかりとした福島県のイメージアップ、風評被害払拭の戦略を立てていかないと、いくら現場でもがいても伝わらないのではと感じています。  
**芥川** 基本的に言えるのは、補助金で復興は無いということ。補助金で出来ることは何かという箱物を作るだけです。その中で何をするかを地元の方が考えなければなりません。さらに、民間の活力を活用する方法で復興を考えることも大切です。福島は世界のフクシマと言われ、世界中で名前が知られている状況で、私はそれを使わない手はないと思います。例えばモンドセレクション等海外の品評会へ応募するなどの海外戦略が重要で、行政はそれに対し補助などのサポートをするべきだと思います。

います。また、東京から石川町を見た場合や消費者の立場に立って何をすべきかを考えるべきだと思います。石川町は放射能測定をいち早く実施するなど頑張っていますが、今後は「石川町はそこまでやるのか」と思われるような通常以上のことまでやるのが信頼回復の一つの視点だと思います。

**鈴木** 今までこれほど日本人の絆が繋がったことはないような気がします。たくさんの方から支援をいただき、埼玉県本庄市の方々がバスで八幡屋さんに来て支援してもらったことは今でも忘れられません。

はちみつ牛は、震災前はサウジアラビアに200頭くらい出荷しており、これから、香港、マカオ、タイまでも進出しようと考えていた中の

震災でした。今は、日本人全員で前に進まなくてはならないと思っています。みんなが一緒になり同じ気持ちでやれば、海外進出も可能になるのではないかと思います。

**大野** 町民の代表である議会が今何をすべきかを考え、風評対策委員会を立ち上げて各般にわたり調査をしました。10年後、20年後を考え、中長期的に何をすべきかを考えて町に提言をしました。産業の地盤沈下を食い止め、10数兆円という膨大な国の復興資金をどう最大限に利用するかが議会と執行部に課せられた大きな宿題だと思います。

放射能の問題は口で大丈夫と言っても消費者はなかなか信用されないのです。私は農園でとれたすべての果実を民間の検査機関で測定し、その検査結果をお客様にさし上げて桃とりんごはなんとか完売することができました。しかし、梨は市場出荷もしましたが前年対比75%の減収となりました。市場出荷しスーパーに並んだものは「信用できない」という消費者の考え方がともに響いたと感じました。

今回の震災で石川は地盤が強い、そして放射線量が低いと証明された部分をどう生かしていくかがこれからの石川町の鍵だと考えています。

**加納** 私は民間企業ですと営業をやっていましたが、大切なのは



## 第二部 復興と情報発信について

**仲田** 石川ブランドの再生と魅力ある地域を作るには、地場産業の育成、そして美しい町を作ることが重要であり、そのために復興支援を有効に使うべきではないでしょうか。国の復興関係の予算はインフラに関する記述が多く、新しい産業、地場産業の育成についてはまだ十分議論されていません。いくら建物を元に戻しても将来にかけて雇用を守る戦略を描けなければ、人口が流出し石川町の衰退に歯止めはかかりません。住民が希望を持てる新しい町を作る視点が重要です。

仙台市が復興事業局を新設したように、従来の縦割り行政ではなく横断型の戦略を立てることが出来る部署が必要だと思います。石川町においても、石川ブランド室のような行政横断型の組織を設置し、商工会や農協などと連携できる仕組みを作り、情報収集、戦略、事業化などを展開すれば、私たちトップランナーや民間企業が働ける場が出来ると思います。  
**芥川** 日本では若い方がブランド品のバッグなどをいくら高くても買います。これと同じことで他よりも高いけど「石川町に來たい」「石川町のこれ欲しい」ということを作る必要があるのです。

それとも一つ、石川町も震災に遭い、前半は全国から同情してもらいましたが、同情というのは長く続かず、人はそのあと情から利を求めます。石川町の利益が何かというのを考えるべきです。

その中で放射能は大丈夫なのかという話になると思っています。その時にベクレル単位で、石川町はこれくらいなんですよというものを地図にし、確実に石川町は綺麗だということが分かるようにします。結局、綺麗だと言ったら綺麗だという証明書を出す必要があります。理解できる情報を提供する必要がある。

# トップラシナーISHIKAWA新春座談会 「石川ブランド」の再生 ～魅力ある地域をつくる～

なってくるのではと思います。それは海外進出の際にも必要になります。私は、酒井さんのところで海外の品評会にお菓子を出品されたらいいと思います。平時は、頭でわかっている体が動きませんが、今は緊急事態なので体が動く状態です。今はやらなければという思いが強くなっている、海外の品評会に挑戦するのでもいいと思います。

**酒井** 震災後、私の知り合いの同業者、他社、親戚の人たちなど遠くにいる人たちの「応援したい」という気持ちが強いことを感じました。復興ブッセ「福島福島の幸せ」を作る時に、平時ではなかなか協力してもらえない長野県原田泰治先生（長野県在住の画家）の絵を使わせてもらったり、兵庫のパティシエの友人が石川町に4千個のお菓子を持ってきてくれたり多くの人に協力してもらいました。私が思うのは、石川町出身の方に石川をPRするメンバーの人として参加してもらえようなネットワークをたくさん作って、その人たちに代弁者になってもらって情報を発信すればいいのではと思います。やはり外からの視点が必要だと思えます。やりたいことに対するフィードバックをたくさんもらった方がマーケティングの観点から言えば正しい方向だと思えます。

**仲田** 海外の納品業界、展示即

売会、展示会への出品ですが、なかなか石川町から海外に展開というのはピンとこないかもしれませんが、私は経済産業省の農工商連携を受けていて最終の審査過程で学識経験者の先生方に3年で海外展開してくださいと言われました。私の会社は具体的に3年でドイツか中国に売店しようと思っていますが、そういうことを実現できることが大事だと思います。

**渡邊** 今日の座談会や今酒井さんと取り組んでいる石陽塾など、地域の人の思いを結集して方向性を統一することが重要だと思います。それぞれの分野で力を出し合って、それがうまく相乗効果でお互いに補完し合えれば凄いいパワーになると思います。そして、お互いがビジネスとして繋がって発展できる仕組みを作らなければならぬと思いますし、その仕組みが間違った方向に行かないように地域やみんなの考え方を外部から客観的にサポートする体制が必要だと思います。今石陽塾に参加して思うのは若い人たちの発想、エネルギーは凄いいことで今までの石川にはなかったことだなと思います。



鈴木

私は10年前から学校に、はちみつ牛を提供しテーブルマナーを開いています。子ども達が大きくなったとき「はちみつ牛」を思い出して、故郷を思い出してもらえればと思つて取り組んできました。昨年は放射能の影響で子どもたちに牛肉を提供することはできませんでしたが、今後もうまい肉を作つてテーブルマナーを恒例にし、息子の代になつても継続して欲しいと思つています。こうして地元を注ぐことにより石川町の雰囲気が変わるのではと思つています。

東山

今後は石川町に必要なアクションは2つあると思つています。一つはがんばっぺ石川のホームページのような「見える化」です。二地域居住や田舎暮らしなどの情報、移住して来た方々などの登場によつて、石川町の普段の生活を掲載し、全国の方や世界中の方に向けた「見える化」が重要ではないかと思つています。

もう一つは子供たちにどう受け継ぐか。20代の若年層が田舎に非常に興味を持っているという総務省のデータがありますので、定年間のシニア層と決め付けしないで、もっと幅広い年齢層、特に若い人たちに、石川の良さというのをどんどん発信していくのも一つの手法だと思つています。

大野

議会としてもこういう機会を生かしながら、最小の財源で最

大の効果が生まれるように町民全体でやるのが一番大事なのかなという気がします。

先日議会で24社ほどの企業を調査した結果、22社が震災前より業績が上がつていました。これはやはり民間だからこそ、とにかく社員を路頭に迷わせるわけにはいかないと、そ

## 行政横断型の石川ブランド室の設置 企業と地域が一緒になって桜をPR 石陽塾の若い人のエネルギーを発展

仲田

酒井

渡邊

芥川

まずはリスクを正確に読んでください。みんながやっているからリスクが少ないとは限らず、実はそれはリスクが高くて失敗する可能性が高いことがあります。逆にみんながやっていないからリスクが高いと思つて挑戦しないこともあります。

もう一つは、「がんばっぺ石川」は売上を伸ばして損益分岐点にもつていくための行為が根本にあるということをお忘れないうちでやって欲しいと思つています。「がんばっぺ石川」には、売上を伸ばして損益分岐点を越えるためと顧客数を増やして売上を伸ばし利益が出るようにするために町がお金を出しているということを十分に理解して行動して欲しいと思つています。

酒井

ある写真家の方達から石

それぞれの立場で頑張つた結果だと思つています。

今後は、全体の底上げを図り石川町を全国的にPRする一番の役割なのかなという考えでありますので、今日の皆さんのお話しを議会で申し上げ、それをまとめて改めて執行部に提言して行きたいと思つています。

川町の桜は素晴らしいという意見をいただきましたので、桜を前面にアピールしていこうと思つています。

企業と地域が一緒になって桜をPRしたらどうかと思つています。桜の花見弁当の選手権をやつたらどうかという意見がありまして、今年どこまで出来て、商品価値がどういう風になるかわかりませんが、アピールしたいと考えています。



加納

皆さんの話しを伺つて、今年は損益を考慮し、注文を取れる営業活動を展開しようと思つています。

もう一つは、成功させるためには投資も必要だということです。会社にいる時は、役員会で指摘されながらも年間数千円の研究開発費を注ぎ、それを基礎とし、新商品を開発しました。町民の皆さんや職員の中からアイデアが出たら予算を組み、継続してやるのが石川町のまちづくりにとつても必要だと思つています。

本日はいただいた皆様からの貴重なご意見を踏まえ、これからの復興とまちづくりに生かしたいと思つています。ありがとうございます。



# 農用地115か所の 土壌調査を 実施しました



～すべて安全基準値内になりました～

町農業委員会は、福島第一原子力発電所の事故による農用地等への放射能汚染の実態を重くとらえ、安心安全な農産物を生産し風評を払拭するため、農用地の汚染実態を把握することが急務と判断し農用地の土壌調査を実施しました。

調査は、1km×1.5kmのメッシュを設定し、町内115か所を農業委員が行いました。

調査の結果、安全基準及び作付可能基準（ともに5,000.0ベクレル/kg）を超えた土壌はありませんでした。

農林水産省が示した平成24年産稲の作付の考え方では、平成23年産米が暫定規制値（500ベクレル/kg）を超過した地区、食品衛生法上の新基準値案（100ベクレル/kg）の水準を超えた地域について作付制限が検討されています。

石川町の23年産米は、現在4月からの運用が検討されている食品等の放射能の新基準値案である100ベクレル/kgを超えた米がなかったこと、今回の土壌調査においても作付可能基準値内であったことから、今年の農作物の作付は可能と考えられています。



## ●調査結果

	田		畑	
摂取地区	件数	調査結果 (Bq/kg)	件数	調査結果 (Bq/kg)
石川	13	80.0～213.8	5	121.9～331.0
沢田	8	107.3～306.0	11	116.2～445.0
山橋	25	81.3～607.0	-	採取なし
中谷	18	71.8～291.0	4	51.6～302.0
母畑	17	99.2～328.0	-	採取なし
野木沢	13	78.0～174.4	1	114.7

- 調査実施期間  
平成23年12月～平成24年1月
- 調査対象土壌  
平成23年耕作地 115か所  
(田 94か所 畑 21か所)
- 放射能測定器  
日立アロカメディカル  
(NaI (TI) シンチレーション  
検出器)



## ●食品中の放射性物質に係る基準値 (4月1日施行予定)

(単位：ベクレル/kg)

暫定基準値		➔	新基準値案	
食品群	基準値		食品群	基準値
野菜類	500		一般食品	100
穀類	500		牛乳	50
肉・魚・卵、その他	500		飲料水	10
牛乳・乳製品	200		乳児用食品	50
飲料水	200			

## 〈地域調査結果表〉

### 田

採取場所	検査結果 (Bq/kg)
字王子平	199.2
字草倉田	156.8
字古館	112.5
字境ノ内	132.1
字塩沼	108.0
字白石	153.2
字外国見	130.7
字飛ヶ作	166.2
字成亀	191.2
字猫啼	80.0
字豆ヶ平	213.8
字弥吾	115.6
字梁瀬	161.5
大字沢井字打出	162.0
大字沢井字川井	157.1
字沢井字真明田	306.0
大字沢井字藤沢	131.0
大字赤羽字上森屋段	242.6
大字赤羽字谷地田	218.4
大字赤羽字仲ノ町	225.7
大字赤羽字楠木	107.3
大字山形字兔田	266.0
大字山形字大沢	167.1
大字山形字大下	218.0
大字山形字大豆久内	81.3
大字山形字須沢	177.3
大字山形字関田	339.0
大字山形字福田	146.9
大字山形字松森	262.0
大字山形字若林	255.0
大字板橋字犬ヶ馬場	328.0
大字板橋字女庭	369.0
大字板橋字沢古屋	308.0
大字板橋字関ヶ畑	221.6
大字板橋字八升蒔	222.9
大字板橋字日影	208.3
大字板橋字兵庫屋敷	252.0
大字板橋字舟ノ沢	229.1
大字板橋字坊屋敷	372.0
大字板橋字山口	302.0
大字南山形字金平	607.0
大字南山形字笹目田	211.0
大字南山形字羽貫田	159.6
大字北山形字大平	152.5
大字北山形字寺宗内	200.3
大字北山形字細田	150.5
大字双里字谷津前	71.8

採取場所	検査結果 (Bq/kg)
大字双里字松作	106.7
大字形見字大工内	143.6
大字形見字中屋敷	172.3
大字谷沢字北ノ前	109.7
大字谷沢字館ノ腰	202.0
大字坂路字川平	291.0
大字坂路字馬場宿	227.0
大字谷地字関本	184.6
大字中田字石ノ森	180.3
大字中田字上三森	202.7
大字中田字村松	131.4
大字中田字高柴	243.8
大字中田字田ノ作	166.0
大字中田字八又	113.9
大字中田字古釜	72.1
大字中田字曲沢	119.8
大字中田字孫目	134.2
大字母畑字牛沼	328.0
大字母畑字梅木入	222.5
大字母畑字小田口	222.8
大字母畑字滝ノ平	289.0
大字母畑字手倉	208.2
大字湯郷渡字五斗内	99.2
大字湯郷渡字瀬戸	160.4
大字湯郷渡字銭神	163.5
大字湯郷渡字湯坂	263.0
大字北山字入山	256.0
大字北山字入山	146.1
大字北山字上村松	253.0
大字北山字下村松	194.5
大字北山字菅田	307.0
大字北山字莊束	194.3
大字北山字羽貫田	313.0
大字北山字矢津	122.7
大字中野字井戸上	123.3
大字中野字杉内	78.0
大字中野字福貫田	165.1
大字中野字矢ノ内	165.1
大字曲木字川山	120.1
大字曲木字北ノ山	161.2
大字曲木字戸ノ内	167.0
大字曲木字東土神	174.4
大字曲木字平田	140.4
大字塩沢字大橋	137.9
大字塩沢字佐武内	128.5
大字塩沢字禿山	84.7
大字塩沢字割田作	116.7

### 畑

採取場所	検査結果 (Bq/kg)
字江堀田	331.0
字北町	209.1
字下ノ内	251.0
字新町	145.0
字立ヶ岡	121.9
大字沢井字上ノ池	220.1
大字沢井字上ノ原	258.0
大字沢井字大山平	185.7
大字沢井字十三塚	220.4
大字沢井字大日原	144.0
大字赤羽字亀堀	214.4

採取場所	検査結果 (Bq/kg)
大字赤羽字亀堀	445.0
大字新屋敷字大段	204.6
大字新屋敷字耕土	215.5
大字新屋敷字雀	116.2
大字新屋敷字鷹ノ巣	256.0
大字双里字谷津	120.1
大字坂路字山小屋	302.0
大字中田字入山	51.6
大字中田字十字字	218.1
大字母畑字樋ノ口	114.7

# ガラスバッジ式・電子式 個人線量計の測定結果

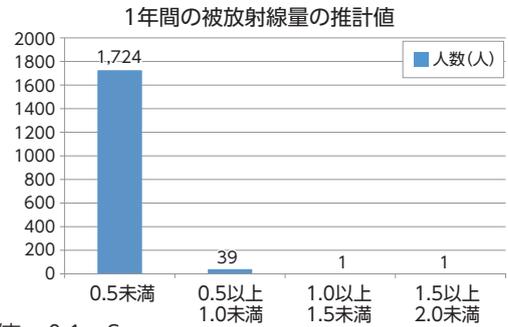
(平成24年1月25日現在)

## ガラスバッジ式個人線量計測定結果

- 貸出数 1,842個
- 回収数 1,765個
- 対象者 中学生以下の希望者
- 測定期間 平成23年10月初旬から  
平成24年1月初旬までの約3か月間

- 測定結果 (※自然放射線相当量を除いた値)  
最大値 0.4mSv 最低値 0.0mSv (0.05mSv未満) 平均値 0.1mSv

約3か月間の測定値 (mSv)	0.1未満	0.1以上 0.2未満	0.2以上 0.3未満	0.3以上 0.4未満	0.4以上 0.5未満	合計
人数 (人)	323	1,401	39	1	1	1,765
割合 (%)	18.3	79.3	2.2	0.1	0.1	100



- 1年間の被放射線量の推計値 (※自然放射線相当量を除いた値)  
最大値 1.6mSv/年 最低値 0.20mSv/年未満 平均値 0.40mSv/年

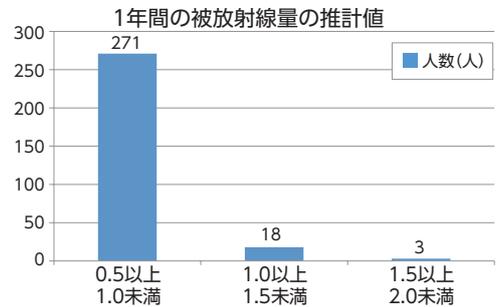
1年当りの推計値 (mSv/年)	0.5未満	0.5以上 1.0未満	1.0以上 1.5未満	1.5以上 2.0未満	合計
人数 (人)	1,724	39	1	1	1,765
割合 (%)	97.6	2.2	0.1	0.1	100

## 電子式個人線量計測定結果

- 貸出数 343個
- 回収数 292個
- 対象者 高校生、妊婦の希望者
- 測定期間 高校生 平成23年10月中旬～11月中旬の約1か月間  
妊婦 平成23年10月中旬～平成24年1月までの3か月間
- 1年あたりの推計値 (※自然放射線量を含む)

最大値 1.9mSv/年 最低値 0.5mSv/年 平均値 0.8mSv/年

推計値 (mSv/年)	0.5以上 1.0未満	1.0以上 1.5未満	1.5以上 2.0未満	合計
人数 (人)	271	18	3	292
割合 (%)	92.8	6.2	1.0	100



※町では線量計の貸出者を対象とした講演会を3月4日(日)午後1時から共同福祉施設で開催します。

### 「県民健康管理調査」 問診票記入のお願い

問診票は、長期的にみなさんの健康管理をするための大切な一歩です。

まだ提出されていない方は、提出をお願いします。

- お問い合わせ先  
福島県立医科大学 県民健康管理調査事務局  
☎024-549-5130  
(午前9時～午後5時 土、日、祝日を除く)

### 福島県アドバイザーグループの意見

測定結果について、福島県「放射線と健康」アドバイザーグループからアドバイスをいただきました。

#### ★アドバイザーグループの意見★

今回の測定は、ガラスバッジにより約3か月及び電子式個人線量計により1か月から3か月の現状における積算線量を把握したものでしたが、健康に影響が心配されるレベルの線量の方はいませんでした。



# 地デジの準備はお済みですか？ アナログテレビ放送は3月31日に終了します

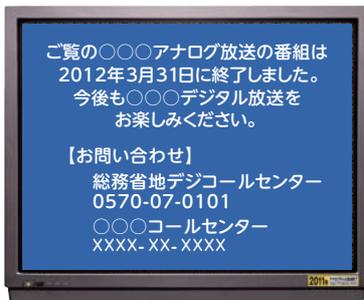
【アナログテレビ放送終了までの画面イメージ】（実際の表示内容等は、今後決定される予定です。）



3月31日  
正午以降



停波後  
アナログ放送は映りません。



3月31日正午からブルーバックのお知らせ画面を表示します。24時までには停波します。

3月31日24時までに停波し、この後は、映りません。

## 地デジのことではわからない場合は...

デジサポ福島 ☎024-505-1010

総務省 地デジコールセンター ☎0570-07-0101

受付時間：平日 午前9時～午後9時、土・日・祝日 午前9時～午後6時

## 平成24年春季全国火災予防運動

3月1日(木)～3月7日(水)

平成23年度全国統一防火標語

消したはず 決めつけしないで もう一度

### みんなで確認！命を守る“7項目”

- 寝たばこは、絶対やめる
- ストープは、燃えやすいものから離して使う
- ガスこんろのそばを離れる時は、必ず火を消す
- 住宅用火災警報器を設置する
- 寝具やカーテンは防災物品を使う
- 住宅にも消火器等を設置する
- お年寄りや体が不自由な方を守る地域づくりに努める

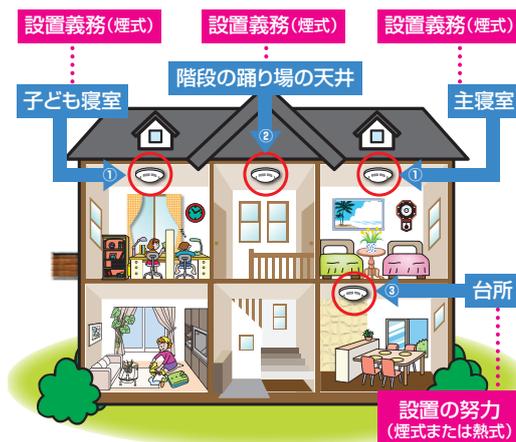
### 平成23年6月1日から、全ての住宅で 住宅用火災警報器の設置が義務化されました!!

平成23年6月1日から既存住宅に対する「住宅用火災警報器」の設置が義務化されました。現在石川町内の住宅用火災警報器の設置率は約51%となっています。住宅火災で亡くなる方が多くが「逃げ遅れ」と言われています。「あの時、もう少し早く火災に気づいていたら…」では遅い。大切な家族を守るために早めの設置をお願いします。

●お問い合わせ先

須賀川地方広域消防組合 石川消防署 ☎26-3161

須賀川消防本部ホームページ <http://sukagawa119.jp/>



ください!!

月間

4月1日～30日

「花より団子選手権」が初めて開催されます!!

## 「全日本花見弁当選手権」 「花より団子選手権」

町内のNPOと企業が合同で実施する「全日本花見弁当選手権」、「花より団子選手権」が開催されます。この選手権は、一般の方やプロから花見弁当や花見団子のレシピを募集し、審査や投票等でグランプリを決定する選手権です。

レシピの募集期間、審査、入賞作品の販売などについては次のとおりです。詳細についてはお問い合わせください。

- 募集期間 3月上旬～3月31日(土)
- 1次審査 4月1日(日)～6日(金)
- 2次審査投票 4月14日(土)～15日(日)
- 入賞作品販売  
【団子・スイーツ】4月16日(月)～22日(日)  
【花見弁当】4月21日(土)～22日(日)
- 主催  
ふくしま風景塾

## 駅からハイキング

- 開催日 4月21日(土)
- 受付時間 午前10時～午前11時45分
- 受付場所 JR磐城石川駅  
今出川・北須川の桜並木と高田桜を巡ります。
- お申し込み方法  
電話またはインターネットでお申し込みください。  
駅からハイキング事務局  
☎03-5719-3777  
ホームページ  
【インターネット】<http://www.jreast.co.jp/hiking/>  
【携帯電話】<http://www.jreast.co.jp/hiking/m/>

## さくら健康ウォーク

- ～町内の桜の下を  
楽しく歩きませんか～
- 開催日 4月22日(日)
  - 受付 午前9時30分～午前10時
  - 集合場所 石川町商工会  
(石川小学校東側)  
桜の木の下を楽しく歩きます。  
参加される方は、当日集合場所へ。

見て、食べて、撮って楽しんで

# いしかわ桜

今年は「全日本花見弁当選手権」

## 第26回石川桜まつり

- 日時 4月14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日)
- 場所 まちなか交流広場、あさひ公園、商工会館及びその周辺
- 主なイベント
  - ★菊池章夫ミニコンサート
  - ★石川郡よさこい踊り隊
  - ★子ども魚つかみ大会
  - ★子どもビンゴゲーム など

## 桜ロードレース大会

- 日時 4月14日(土) 午前9時～正午
- 部門 小学生、中学生、親子
- コース 今出川周辺～南町大通り  
スタート：石川小学校前  
ゴール：学法石川高校
- お願い 当日は、交通規制によりコース内への車両の進入はできませんので、コース周辺住民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## フォトコンテスト

- 応募締切 4月22日(日) 午前11時まで
- 審査表彰 同日午後3時から
- ※午前中に「写真教室」を開催します。

## 桜のライトアップ

- 期間 4月1日(日)～30日(月)
- 場所 あさひ公園、今出川・北須川沿いの桜並木

## 無料周遊バス運行

※開花状況によりコースが変わる場合があります。

- 日時 4月14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日)の4日間限り
- コース【町内周遊コース】  
クリスタルパーク ⇒ JR磐城石川駅 ⇒ 役場本庁舎 ⇒ あさひ公園 ⇒ 高田桜 ⇒ 役場分庁舎 ⇒ 旧末広前 ⇒ 商工会駐車場
- 【1本桜めぐりコース】
  - ・クリスタルパーク ⇒ 高田桜 ⇒ あさひ公園 ⇒ 今出川の桜 ⇒ 観照寺桜 ⇒ 谷沢古内の桜 ⇒ 観音山の桜
  - ・クリスタルパーク ⇒ 高田桜 ⇒ あさひ公園 ⇒ 熊野桜 ⇒ 長福院の桜 ⇒ 小和清水の桜 ⇒ 幸右衛門桜

●お問い合わせ先

# 街

かど

# 探検隊



## ライオンズクラブとシニアライオンズクラブが善行生徒とスポーツ功労生徒を表彰しました

第42回善行生徒・スポーツ功労生徒表彰式は1月12日マーヴェラス末広(玉川村)で行われました。

この表彰式は、石川ライオンズクラブ(岡部弘一会長)と石川シニアライオンズクラブ(熊田孝会長)が管内の中学生・高校生を対象に毎年行っているものです。

当日は、生徒会活動に尽力した生徒や学業が優秀な生徒18名、スポーツで優秀な成績を残した生徒42名、また文化・芸術に優れた1団体が表彰されました。

## 石川町体育協会が優秀選手など73名を表彰

石川町体育協会(桑澤康会長)の平成23年度表彰式は1月20日、共同福祉施設で開催されました。

この表彰式は、石川町のスポーツ界において普及発展に活躍された方、卓越した指導力で優秀選手を育てた指導者、各大会で優秀な成績を収めた選手を同協会が表彰しているものです。

式では、幅広い分野でスポーツに活躍された73名が表彰され、受賞者を代表して矢内鷹嗣さん(写真)が「私のチームの平均年齢は80歳ほどですが、この表彰を機に一層技術向上に努めます」と謝辞を述べました。

- ▶ 優秀指導者賞 松田和宏さん(陸上競技)
- ▶ 優秀選手賞 55名 ▶ 少年スポーツ奨励賞 17名



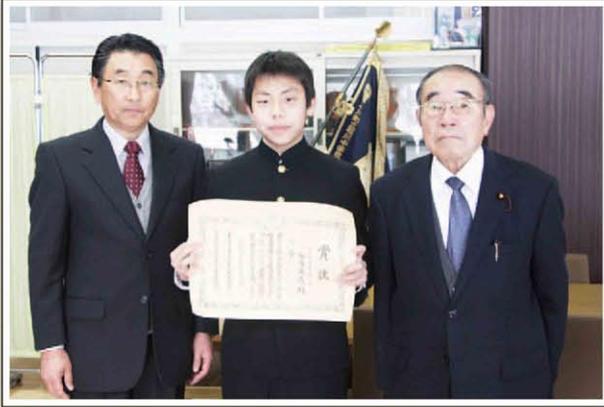
## 第4回石川町「郷土かるた」町民大会

第4回石川町「郷土かるた」町民大会は1月28日、武道館で開催されました。

この大会は、郷土かるたを通して楽しく遊びながら、郷土の歴史や人物を知り、町を愛する町民になってもらおうと(株)夢づくりいしかわが毎年開催しているものです。

大会は、石川小学校6年の坂本葵さんと渡部歩さんの「大会を通して友達との交流を深めることを誓います」との選手宣誓によって開始され、小学生、中学・高校生、一般、シニアの各部門に121チーム365名が参加し、会場では郷土かるたを取る「はいっ」という大きな声が響きわたり熱戦が繰り広げられました。





## 矢内良亮さんが県審査2等に 明るい選挙啓発ポスターコンクール

平成23年度明るい選挙啓発ポスターコンクール県審査の中学生の部で2等に入賞した矢内良亮さん(石川中3年)への表彰伝達は2月3日、石川中学校で行われ永沼源吾町選挙管理委員長から賞状が伝達されました。

このコンクールは、選挙が明るく正しく行われるよう呼びかけるためポスターを児童や生徒から募集したもので、福島県では小学生の部に248点、中学校の部に778点、高校生の部に21点、合計1,047点の応募がありました。

## 熊耳シヲさん 100歳おめでとう

熊耳シヲさん(字大室)への賀寿贈呈式は2月5日、自宅で行われました。

式では、鈴木俊明県中保健福祉事務所健康福祉部長、加納武夫町長、須藤マサ子下泉第二長寿会長から賀寿や記念品が贈呈されたあと、孫の熊耳潤子さんが花束を贈呈し、次男の熊耳将幸さんが「家族や地域のみなさんの協力がありここまでこられました」と謝辞が述べられました。

シヲさんは、60歳まで助産院を開院し、2,000人を超える子どもの出産に立ち会ったとのことでした。



## 特色ある大鍋のほか富士宮焼きそばも 石川町まちづくり交流会

石川町まちづくり交流会は2月5日、中谷自治センターで開催されました。

研修会では、母畑地区まちづくり委員会副委員長の関根正夫さんから蛸の里づくりやかかしコンクールなど母畑地区のまちづくり活動の事例が発表されたあと、石川町地域づくりアドバイザーの沼田典雄さんを講師に迎え、「まちの元気は、地域の元気づくりから」と題した講演が行われました。

午後からの大鍋大会では、地区ごとに特色ある大鍋が披露されたほか、久之浜・大久地域協議会(いわき市)と同協議会と以前から交流がある静岡県三島市の団体も参加し、全国的に有名なB級グルメ「富士宮焼きそば」も振る舞われました。



## 口蹄疫、震災、お互いを支援し合い 畜産組合が絆コンサートを開催

石川郡畜産農業協同組合(渡邊一雄組合長)が主催した「絆コンサート」は2月6日、母畑温泉八幡屋で開催されました。

同組合は以前から宮崎県都城市と交流があり、平成22年に宮崎県が口蹄疫の被害を受けた時に都城市の畜産を支援しました。都城市では、震災により被害を受けた石川町の畜産を支援するため昨年6月に「復興支援コンサート」が開催されています。

今回の絆コンサートは、復興支援コンサートで集められた募金と同組合が以前から交流があった(株)嶺山からの支援金を活用し開催され、三善英史さんの歌謡ショーや三味線の演奏など、会場を埋めた500人の観客を魅了しました。



# HAPPY♪SMILE♪



石本 <sup>ゆうな</sup>結菜ちゃん (4歳) (右)  
みなみちゃん (2歳) (左)

「姉妹仲良く、元気いっぱい  
遊んで大きくなってね」  
パパ、ママより 双里字谷津前

- 「ハッピースマイル」では参加してくれるお子さん (3歳以下) を募集しています。気軽にお問い合わせください。石川町役場総務課 26-2111
- ハッピースマイルは電子メールでも受付しています。必要事項を記入し写真画像を添えお送りください。koho\_k@town.ishikawa.fukushima.jp



Q & A

青春  
ど真ん中



南條 友香さん (20歳) ●谷地字伊勢房内

職業 ▶アスター工業(株)でカーオーディオやコピー機などの部品を作っています。

- Q 今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか
- A 音楽を聴くことです。私はこれまで何度も音楽に救われてきましたので、これからもっとたくさんの音楽を知り、みんなにも元気を与えていきたいです。
- Q 将来やってみたいことや夢を聞かせてください
- A 幸せな家庭を持ち、頼られる母親になりたいです。
- Q 将来どんな町になって欲しいですか
- A 思いやりのある元気で明るい町になって欲しいと思います。
- Q 最後に理想のタイプは
- A 笑顔がかわいくて、一緒にいて落ち着く包容力のある人です。



▶次回は、南條さんの紹介で吉田 尚悟さんです。



# (有)野本観光バス 野本 和義さん

〒963-7837 石川町大字中野字矢ノ内57-4  
☎26-8570 FAX26-8500



野本観光バスの野本和義さんは、小さいころからバスの運転手に憧れを持ち、平成13年、28歳の時にマイクロバス3台で起業しました。翌年には大型バス2台を購入し現在の社名に変更、現在は大型バス14台を含む23台のバスで営業しています。

東日本大震災の時は、8割近くの予約がキャンセルになるなど大きな影響を受けました。原発事故による風評被害も深刻で、6月までは仕事がない状況が続き、7月から少しずつ回復傾向になりましたが、現在も関東圏からのツアーは震災前の半分までしか回復していない状況とのことです。しかし、そのような状況で野本観光は、町総合体育館に設置されていた避難所で避難者の温泉入浴の送迎を無償で行いました。「うちは食料を沢山持っているわけではないため炊き出しは出来ませんが、石川町に避難され困っている人を助けたいとの一心から何か出来ることはないかと思い、ボランティアでバスを運行することを決めました。避難されてきた方々と関わりを持つことで、いつか石川町を再び訪れてくれればと思います」と当時を振り返ります。

「2月に新型バスを導入しました。震災の影響もあり新車の導入には迷いもありましたが、あえて導入することで従業員みんなが心を新たにし一丸となってお客様をおもてなし出来ればと思います。これから迎える桜の季節にはたくさんの人に福島県を訪れてもらい、福島から元気を発信し復興に繋げていければと思っています」と話し、野本さんはお客様の笑顔に乗せてバスを走らせ、福島県、そして石川町の復興に向かって今日も頑張っています。

## 30数年住んでみていい町だと感じています

**AQ AQ**  
お子さんは何人ですか  
2人です。  
結婚されて50年、思い出を聞かせてください  
私たちは昭和36年に結婚しました。結婚当時は一人とも東京都大田区の片山工業所に勤務し自動車部品を製造していました。その後、昭和39年には横須賀市、昭和44年には横浜市へと転勤しました。当時私の仕事は忙しく、帰宅が夜中の3時になることもあったり遊び仲間もなく働きましたが、体を壊すこともなく働き続けることができ、丈夫に産んでくれた両親と支えてくれた妻に感謝しています。また、結婚した頃は給料も少なく給料日になると子どものミルクを真っ先に確保したことなども思い出されます。石川町には昭和50年3月の大井製作所への単身赴任がきっかけで住み始め、昭和52年から家族で定住しました。引越した当時は首都圏に比べてバスや電車など公共交通機関が少なく移動手段に困ったこともありましたが、30数年住んでみて今は良い町だと感じています。



氏名：日下 志郎さん (73歳)  
フミ子さん (74歳)  
住所：字長久保

**AQ**  
お一人の楽しみは何ですか  
私達は、旅行が好きで国内外を旅行しました。北海道、四国、九州などは何回か行きました。私は北海道で見た大雪山、妻は阿蘇山や桜島を見た九州旅行が思い出に残っています。

**AQ**  
お二人の楽しみは何ですか  
志郎…ゴルフとゲートボールが楽しみです。また、一口おきに1時間近く散歩し、9,000歩ほど歩いています。

**AQ**  
花が好きなのでガーデニングが楽しみです。花が少ない冬は編み物など手芸をしています。

**AQ**  
石川町の一番好きなのところを教えてください  
初めて石川町に来た時に圧倒された石都々古和氣神社の例大祭が好きです。沢山の神輿が勇壮に練り歩く姿は見事だと思います。

**AQ**  
町政に望むことは何ですか  
藤沢工業用地に早く企業を誘致して人口の減少に歯止めをかけて欲しいです。

# 故郷の歩みを学ぶ

## いしかわの歴史

### 9 鎌倉幕府の滅亡

鎌倉幕府の権力は將軍ではなく執権北条氏の惣領（得宗と言）が握っていました。そのため、將軍の家臣である御家人より、得宗の家臣であり、御家人は不満を持っていました。

元亨3年（1323年）10月、得宗高時は亡父貞時の十二年忌の供養を鎌倉円覚寺で行いました。石川大炊助又太郎以下、11名の石川一族はそれぞれ馬二頭を進物とし、円覚寺に参上しました。この時の石川一族は御家人なのか御内人なのか見方が分かれるところです。それと言うのも石川荘の一部、坂路・鎌田・竹貫などは北条領であった形跡があるからです。

この頃の石川一族は一致団結していたわけではありません。現に坂路光信と大炊助光行は叔父・甥の間柄でしたが、鎌田村の支配をめぐって二度も訴訟を行いました。背景にあったのは所領の不足でした。

平安時代以来、武士の所領は慣習により分割相続が行われてきました。そのため、開拓による所領の拡大が

あったものの、所領は次第に細分化されました。武士は収入が減り窮乏したため、北条氏への不満が高まりました。

この頃、皇統は持明院統と太皇太后に分裂し、皇位と皇室莊園を巡り争っていました。太皇太后から皇位に就いた後醍醐天皇は、幕府の衰えを好機とし、天皇による全国支配の回復を目的に倒幕を計画しました。天皇は元弘元年（1331年）8月に京都を逃れ軍勢を募りましたが、幕府軍に敗れて讓位を強いられ、持明院統の光厳天皇が即位、後醍醐は隠岐島に配流されました。

しかし、元弘2年の末には後醍醐の子護良親王が挙兵し、次いで河内（大阪府）の楠木正成らも挙兵しました。同3年閏2月、後醍醐は隠岐を脱出し伯耆（鳥取県）に移り、倒幕の檄を飛ばしました。

4月16日、石河大炊助光隆に出陣を命じたように、『町史三』中世資料五（一）、幕府は大軍を派遣しました。ところが、大将の一人である足利尊氏は、4月に幕府にそむき後醍

醐方に付きましました。足利氏は源氏の一族であり、尊氏の向背は御家人の動向に影響を与えました。

5月、尊氏は幕府が京都に置いた六波羅探題を攻め滅ぼし、上野（群馬県）の御家人新田義貞は鎌倉を攻めて北条高時以下を自害させ、鎌倉幕府は滅亡しました。鎌倉攻撃には石川義光も参戦し、『町史三』中世資料五六、先の大炊助光隆も北条氏の奥州支配の拠点である佐々河城（郡山市）を攻撃したため、北条氏と関係深い石川一族はこぞって幕府を見限ったのです。

復位した後醍醐は光厳天皇を退位させ、理想とする天皇親政を開始しました（建武の新政）。後醍醐は奥羽支配のために義長親王に側近の公家北畠顕家とその父親房を付けて多賀城に派遣しました。しかし、このような公家中心の政治は武士の反感を招きました。



▲円覚寺（神奈川県鎌倉市）

## 石川桜めぐり

### 白坂下の桜

双里字白坂下



樹種名 枝垂れ桜

樹齢 不明

形状寸法 樹高 18m

胸高幹周 3m

特記事項

八幡太郎義家（源義家）が奥州征伐の折、記念に植えた桜が枯死した後に、その名跡を継ぐために植えたといわれています。同所には、俳人三森幹雄の句碑があります。

「今日のはや やまにかぶさる 桜かな」

見頃 4月中旬

# 食改さんの ちよっぴ ひと工夫!

## スイートアップル



遊佐 利江子さん(境ノ内)

### 材 料 (4人分)

りんご……………5個  
炭酸入り  
レモンジュース……………200cc



### ●遊佐さんの ひと工夫!

季節の果物りんごを使った、甘さ控えめ簡単デザートです。

お鍋ひとつでできるので、寒い季節、自宅に石油ストーブがある方は、ストーブの上に鍋をのせてコトコト煮れば焦がすことなく作れます。

鍋は蓋がびったり閉まるものを使用すると、噴きこぼれる心配がありません。

りんごと炭酸入りレモンジュースがあれば、レモン汁や砂糖は一切いりません。ヨーグルトに添えても美味しいですよ。たくさんりんごが食べられる、おすすめのレシピです。

### ●栄養士のひとこと

りんごは、栄養価が高く、健康・美容・ダイエットに効果があることから、身体に良い果物と言われています。ペクチン・カリウム・ポリフェノールが豊富に含まれ、ペクチンは腸の働きを整える効果があり、便秘の予防や改善に役立ちます。カリウムは体内の塩分を排出する作用や利尿を促す働きがあり、むくみ改善、腎臓病、高血圧の予防などに効果があります。ポリフェノールは老化やがん細胞のもとになる活性酸素を抑える効果があります。

さらに、りんごの酸味であるリンゴ酸・クエン酸は、疲労回復や食欲増進に役立ちます。

### ●作り方

- ①りんごは洗って4等分に切り芯を取って皮をむく。
- ②蓋がしっかり閉まる鍋に①のリンゴと炭酸入りレモンジュースを入れ火にかける。
- ③弱火でコトコト水分がなくなるまで煮詰める。
- ④りんごが軟らかくなったら火を止め、そのまま冷まして出来上がり。



地域のネットワークで

みんなが安心! 元気!!

## みんなの話・和・輪

～高齢者に多いからだの悩み①～

### 「尿もれのはなし」

排尿にまつわる心配事は年を重ねると深刻な問題に発展します。「夜間にトイレが近くなるので水分は取らない」「外出先でトイレに間に合わない」といふことから出掛けられない」といふことが脱水になったり、自宅に閉じこもるような生活を招く原因にもなったりしています。

#### 【尿漏れの原因】

もっとも頻度が高い原因は「一切迫性尿失禁」といって突然強い尿意が起こりトイレまで我慢できずに失禁してしまうものです。加齢による膀胱の弾力性が無くなり、膀胱内の圧力が不安定になることが引き金になっています。女性に多い失禁は「腹圧性尿失禁」で重いものを持ち上げた時や、咳やくしゃみなどをした際に尿がもれることをいいます。

#### 【かしく対処していつまでも活動的!】

尿もれは、デリケートな問題のため、大切なことなのに誰にも相談できず悩んでいる方が多いようです。お年寄りの尿失禁は子どものお漏らしとは違い「病気」の一つです。年を重ねれば自然なこと・・・と捉えて、一人で悩まないようにしましょう。

①まずは医師に相談しましょう。中には原因になっているほかの病気があるかもしれません。一般の内科より泌尿器科のほうがより専門的な検査やアドバイスをもらえるでしょう。

②外出先での不安をなくすために専用の下着やパッドを使いましょう。薬局や介護用品のお店で相談ののってください。

③今以上に症状がすすまないようにセルフケアしましょう。骨盤周りの筋肉を鍛えることが効果的です。『お腹に手を当てながらお尻の穴に力を入れます。5秒数えたら力を抜く。』を5回繰り返します。

●相談・連絡先 地域包括支援センター ☎26-4606

◆地域福祉ネットワーク標語

「地域みんなて、気にかかけあい・見守りあい・声かけあって、誰もが安心して暮らせる地域づくりを」



# 募集

平成24年度国家公務員  
「国税専門官採用試験」  
（大学卒業程度）のお知らせ

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティあふれる税務職員を募集します。

仙台国税局に採用されると、税務大学校で研修を受けた後、仙台国税局管内（東北6県の税務署）に配置されます。

- 受験資格
  1. 昭和57年4月2日から平成3年4月1日生まれの者
  2. 平成3年4月2日以降生まれの者（次に掲げるもの）
    - ① 大学を卒業した者及び平成25年3月までに大学を卒業する見込みの者
    - ② 人事院が①に掲げる者と同等の資格があると認める者
- 受験申込受付期間
- インターネット申し込み

4月2日(月)午前9時～4月12日(木)まで

【受信有効】  
インターネット専用申込アドレス  
(<http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>)

● 郵送・持参申し込み  
4月2日(月)～4月3日(火)

● お問い合わせ先  
仙台国税局人事第二課  
試験研修係

☎ 022-1263-1111  
内線3236

## 自衛官各種採用試験のお知らせ

### 予備自衛官補

普段は企業等の一員として社会で活躍、いざというときは自衛官として社会に貢献、それが陸上自衛隊の予備自衛官補制度です。

- 受験資格
  - 一般公募 18歳以上34歳未満
  - 技術公募 18歳以上53～55歳未満

- 受付締切 4月4日(水)
- 試験日 4月13日(金)

16日(月)の指定された1日

**自衛隊幹部候補生**  
一般大学卒業業者(予定者を含む)を自衛隊の幹部候補生として採用します。

- 受験資格 22歳以上26歳未満
- 受付締切 4月27日(金)

● 試験日 5月12日(土)

● お問い合わせ先  
自衛隊福島地方協力本部  
白河地域事務所  
☎ 0248-124-10372

## はつらつ元気教室 初級コース参加者募集!

体力が落ちてきた！体力に自信がない！運動をしたことがない！運動はしたいが激しい運動は苦手！と思っている方に、簡単なリズム体操やストレッチ体操で、無理なく健康な体づくりができる運動教室を開催します。楽しみながら仲間と一緒に運動してみませんか。

● 日時 5月～7月

(毎週金曜日) 12回コース  
午後1時30分～午後3時

● 場所 石川町体育館

● 募集人員 20名程度

● その他 詳細は、後日、参加希望された方へ通知します。

● 申し込み締め切り 3月27日(火)

● 申し込みお問い合わせ  
保健センター  
☎ 26-18416



## 国家公務員採用試験のお知らせ

人事院では、次のとおり国家公務員採用試験を実施します。  
なお、申込方法や受験資格等の詳しい内容については、人事院ホームページ又は人事院東北事務局にお問い合わせください。

試験名称	受付期間 (郵送による受付最終日までの 通信日付印有効)	第1次試験日
総合職試験 (院卒・大卒程度)	4月2日(月)～4月9日(月)【インターネット】 4月2日(月)～4月3日(火)【郵送・持参】	4月29日(日)
一般職試験 (大卒程度)	4月10日(火)～4月19日(木)【インターネット】 4月10日(火)～4月11日(水)【郵送・持参】	6月17日(日)
一般職試験 (高卒者)	6月26日(火)～7月5日(木)【インターネット】 7月2日(月)～7月10日(火)【郵送・持参】	9月9日(日)

● お問い合わせ先  
人事院東北事務局 第二課 試験係 ☎022-221-2022  
ホームページ：<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>



「体重・体脂肪が気になる」「効果的な運動の仕方がわからない」と口頭から悩んでいるあなたにお知らせです！エアロバイク、リズム運動などの有酸素運動と筋力トレーニングによる健康の維持・増進をはかり心身共にリフレッシュできる運動教室を開催します。リズムに合わせて運動して楽しく貯筋しましょう。

●日時 4月～6月  
(毎週水曜日) 12回コース  
午後1時30分～午後3時

●場所 石川町体育館

●募集人員 40名程度

●申込締切 3月27日(火)

●お申し込み・お問い合わせ 保健センター

☎ 26-8416

貯筋クラブ(中級コース)  
参加者募集!!

## 3月1日～3月7日は「子ども予防接種週間」です

お子さんの予防接種について確認し、まだ済んでいない予防接種は早めに接種しましょう。この期間、土日も実施する医療機関もありますのでご利用ください。

### 予防接種実施医療機関

※時間を確認の上、必ず予約してから受けて下さい。

医療機関名	電話番号	3/1 木	3/2 金	3/3 土	3/4 日	3/5 月	3/6 火	3/7 水
石川中央医院	26-2024	8:30～ 17:30	8:30～ 17:30	8:30～ 12:30	8:30～ 16:00	8:30～ 17:30	8:30～ 17:30	8:30～ 17:30
大野診療所	26-2615	8:30～ 14:00	8:30～ 14:00	8:30～ 14:00		8:30～ 18:00	8:30～ 18:00	8:30～ 18:00
中島医院	26-3415	14:00～ 17:00	14:00～ 17:00			14:00～ 17:00	14:00～ 17:00	14:00～ 17:00
やまもと内科クリニック	26-8311	9:00～ 11:00	9:00～ 11:00			9:00～ 11:00	9:00～ 11:00	9:00～ 11:00
角田内科医院(浅川町)	36-2067	8:30～ 12:00	8:30～ 18:30	8:30～ 12:00		8:30～ 18:30	8:30～ 18:30	8:30～ 18:30

## 麻疹・風疹の予防接種を受けましょう！

平成23年度対象者で、麻疹・風疹(MR) 予防接種を受けていない方は、3月31日を過ぎると、全額自己負担(10,000円)となります。

期限が迫っていますので、早めに接種しましょう。

◎平成23年度麻疹・風疹対象者

第2期 平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれ(年長児)

第3期 平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれ(中学1年生)

第4期 平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれ(高校3年生)

## 平成24年4月から保健センターで実施する予防接種は事前予約が必要になります

平成24年4月以降、保健センターで実施する予防接種を受ける場合は、実施日の2週間前までに保健センターに電話をしてワクチンの予約をお願いします。

なお、4月には麻疹・風疹(MR)、ポリオの予防接種を予定しています。接種を希望される方は、早めの予約をお願いします。

日程等の詳細は、「平成24年度石川町保健事業予定表」をご覧ください。

## 医療機関で定期予防接種を受けられる方へのお知らせ

これまで定期予防接種を受ける際に保健センターで発行していましたが「予防接種通知書」は、平成24年4月から廃止することになりました。医療機関で予防接種を受ける際には、必ず受けるワクチンの種類、回数を確認のうえ予約し、①予診票、②母子健康手帳、③健康保険証または子ども医療費受給者証を必ず持参ください。

◆お問い合わせ先………保健センター ☎ 26-8416



### 平成24年度東北地区国立 大学法人等職員募集について

平成24年度東北地区国立大学法人等の職員を募集します。募集内容の詳細については、ホームページをご覧ください。次にお問い合わせください。

●受験資格  
昭和57年4月2日以降に生まれた者

●受付期間  
4月上旬

●第一次試験  
5月中旬

●第一次試験地  
弘前市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市、福島市

●お問い合わせ先  
東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会採用事務局  
〒980-1857  
仙台市青葉区片平2丁目1番1号（東北大学本部内）  
☎022-1217-1567  
FAX 022-1217-1493  
e-mail: shiken@bureau.tohoku.ac.jp  
ホームページ  
http://www.bureau.tohoku.ac.jp/shiken/



### 案内

#### 犬の登録と狂犬病予防 注射実施のお知らせ

●対象 生後91日以上の飼い犬  
●日程 4月17日（火）～25日（水）  
登録済みの方には通知を送りません。

日程の詳細は、各自治センター、組回覧文書または役場ホームページで確認できます。

●登録・予防注射料金  
・初めて登録・注射をする場合  
1頭につき6,100円

・すでに登録されている場合（注射のみ）  
1頭につき3,100円

●料金内訳  
登録料 3,000円  
注射料金 2,550円

注射済票交付手数料 550円

※おつりがないように協力願います。

※ハガキが郵送された方（登録済みの方）は、当日必ずハガキを持参してください。

●犬が死亡、失踪、他人に譲渡した場合、登録を抹消しますのよう連絡ください。

●お問い合わせ先  
町民生活課生活安全係

☎26-9122

## 必ずチェック最低賃金！使用者も労働者も

最低賃金は、常用・臨時・パート・アルバイトなどの名称にかかわらず、福島県内の事業場で働く全ての労働者に適用されます。

最低賃金件名		最低賃金額（円） 1時間
福島県最低賃金 （下記の5産業を除く全産業） 効力発生年月日		658円 平成23年11月2日
産業別 最低賃金	非鉄金属製造業 効力発生年月日	770円 平成24年1月19日
	電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 効力発生年月日	724円 平成24年1月19日
	輸送用機械器具製造業 効力発生年月日	758円 平成23年12月16日
	計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械器具・理化学機械器具、時計・同部品、眼鏡製造業 効力発生年月日	757円 平成23年12月18日
	自動車小売業 効力発生年月日	754円 平成23年12月15日

（注）実際に支払われる賃金から次の賃金を除外したものが最低賃金の対象となります。

- ①臨時に支払われる賃金（結婚手当など）
- ②1か月を超える期間ごとに支払われている賃金（賞与など）
- ③所定労働時間を超える時間の労働に対して支払われる賃金（時間外割増賃金など）
- ④所定労働日以外の労働に対して支払われる賃金（休日割増賃金など）
- ⑤午後10時から午前5時までの間に労働に対して支払われる賃金のうち、通常の労働時間の賃金の計算額を超える部分（深夜割増賃金など）
- ⑥精皆勤手当、通勤手当及び家族手当

（注意）産業別最低賃金の一部に適用除外業種や業務があります。

●お問い合わせ先

・福島労働局賃金室 ☎024-536-4604 ・須賀川労働基準監督署 ☎0248-75-3519





**「存知ですか?」自動車税トラブル防止3か条(3月31日までに運輸支局へ登録を!)**

自動車税は、毎年4月1日(午前0時)現在で運輸支局の登録名義人である所有者(割賦販売による購入の場合は使用者)が、5月31日までに納めることになっていきます。

◎その1:抹消等の手続きは、3月31日までに運輸支局で登録しましょう。

自動車を譲渡したり、下取りに出したり、廃車したりしたときは必ず運輸支局で登録しましょう。3月31日までに抹消の登録をしないと自動車税が課税されます。

◎その2:転居したら、車検証の住所変更を運輸支局で登録しましょう。

住民票を異動しても車検証の住所は変わりません。運輸支局に登録しましょう。

やむを得ず手続きができないときは、県中地方振興局県税部(以下)連絡ください。

◎その3:納税証明書は車検証といっしょに大切に保管しましょう。自動車の継続検査(車検)を受ける際には納税証明書が必要です。自動車税を納めたときに交付される領収証書に納税証明書がついています。

また、リサイクル券も次回車検時、廃車時に必要となりますので、廃車時まで車検証と共に大切に保管するようにしてください。

※登録手続きを依頼した場合は、登録が済んでいることを必ず確認しましょう。

●お問い合わせ先  
◎自動車の登録について

・東北運輸局福島支局  
〒970-18165  
福島市古倉字吉田54

●いわき自動車検査登録事務所  
〒973-18403  
いわき市内郷綴町舟場1-135

◎自動車税について  
県中地方振興局県税課第一課  
〒963-18876

郡山市麓山二丁目1番1号  
☎024-1935-11261



## 相談

### 首都圏で新たに生活する石川町出身者の皆さんへ

東京いわき石川会は、昭和58年に結成された石川町出身者の在京組織で、会員相互の親睦交流とふるさと石川の発展のため様々な活動を行っています。

その中で、新たに首都圏で生活する学生や新規就職者が、都会での生活環境の変化から起こる様々なトラブルや悩み事などに対し、会員のネットワークを活用した支援活動を行っております。

様々な分野で活躍されている優れた識見を持つ会員ばかりですので、安心してご相談ください。

#### 相談の流れ

①相談の内容等を町事務局に連絡して下さい。(本人及びご家族から)

②相談の内容に応じ、適任の会員に連絡します。

③問題等の解決に向け、相談活動を実施します。

#### ★相談員

●川島 信治:東京いわき石川会会長

●埼玉県川口市在住

●元日刊工業新聞社編集局委員

●東京福島県人会専務理事

●添田 静江:東京いわき石川会副会長

●東京都渋谷区在住

●株式会社サンライズ取締役

●遠藤 正男:東京いわき石川会副会長

●埼玉県さいたま市在住

●株式会社イー・エヌ・ディー・オー代表取締役

●保護司(駒沢などで講演多数、多重債務・架空請求等の相談経験あり)

※そのほか様々な分野の方々が必要となるサポートいたします。

#### ●相談等の窓口

東京いわき石川会 石川町事務局(役場産業振興課 商工観光係内)

☎26-19113

#### 「引越相談所」開設のお知らせ

トラック事業者の団体である福島県トラック協会では、引越シーズンのピークとなる3月、4月の2カ月間「引越相談所」を開設し、電話などによる引越等の相談に対応しています。

緑ナンバーのトラックを利用している引越しや、引越しに伴う種々のサービスについてお困りのことがありましたら、「引越相談所」へ相談ください。

#### ●引越相談所の連絡先

福島県トラック協会県中支部

☎024-1963-10780

☎024-1963-10781

#### ●引越相談の時間帯

月～金曜日 午前9時～午後4時(祭日を除く)

※ファクシミリは終日受け付けています。

#### ●参考事項

①3月、4月は引越シーズンのピークです。緑ナンバートラックの予約はお早めに行いましょう。

②引越しは下見(無料)、見積もり(無料)を的確に行うことが重要です。トラブル防止のためにも必ず事前に見積もり等をしてもらい、運賃やサービスの内容などについてよく打ち合わせをしましょう。

#### ●定例行政相談

町行政相談委員による定例相談を次に行います。

●日時 3月10日(土)

午前9時～正午

●場所 石川町公民館

#### ●心配ごと相談

●日時 3月23日(金)

4月10日(火)

時間はいずれも午前10時～午後3時

●お問い合わせ先 老人福祉センター

☎26-13793



# 国保だより

## 高額な外来診療を受ける皆さまへ

平成24年4月1日からは、高額な外来診療を受けたとき、限度額適用認定証や被保険者証を提示すれば、入院した時と同様に、ひと月の一医療機関等の窓口での支払いが一定の金額に抑えられます。

これまでは、高額な外来診療を受けたとき、ひと月の窓口負担が自己負担限度額以上になった場合でも、いったんその額をお支払いいただき、後で国保から高額療養費としてお返ししていましたが、平成24年4月1日からは、医療機関等の窓口で限度額適用認定証を提示すれば、限度額を超える分を支払う必要はなくなります。また、保険薬局・指定訪問看護事業者についても同様の取扱いを受

けることができるようになります。なお、平成24年3月31日以前に交付された限度額適用認定証については、記載されている有効期限までは使用することができます。



被保険者	国保窓口での手続き	病院・薬局などで
●70歳未満の方 ●70歳以上の非課税世帯の方	限度額適用認定証の交付の申請をしてください	限度額適用認定証を窓口で提示してください
70歳以上の課税世帯の方	必要ありません	被保険者証を窓口で提示してください

◆お問い合わせ先 町民生活課 国保年金係 ☎26-9125

### 「うつ病と認知症の理解と関わり方について」講演会

2月に保健衛生協力員さんを通して、介護保険の要介護認定を受けていない65歳以上の方を対象に「生活機能アンケート」を実施しました。その中には「うつ」や「認知症」のチェック項目があり、毎年少しずつ、「該当する」と答える方が増えてきています。

高齢者において、うつ病における記憶力、集中力、判断力、決断力の低下は、見かけ上は認知機能の低下と同じで、認知症の始まりとして誤解されることがしばしばあります。

保健センターでは、そのような高齢者のうつ病や認知症についての理解と関わり方についての講演会を開催します。

この機会に高齢者のうつ病や認知症について



学んでみませんか？ご近所、お友達等、お誘いあわせのうえぜひご参加ください。

- 時間 3月14日（水）午後2時～
- 場所 共同福祉施設 ホール
- 演題 「うつ病と認知症の理解と関わり方について」
- 講師 コスモス通り心身医療クリニック院長 圓口 博史先生

※事前予約は必要ありません。

●お問い合わせ先  
石川町保健センター ☎26-8416

自殺対策予防標語  
「家族愛・地域の愛で自死防止」

# TOWN EVENT CALENDAR

石川町 3～4月の主な予定

お知らせ

●町県民税の申告は  
3月15日(木)までに

## 3月 ● March

## 4月 ● April

15	木		
16	金		
17	土		
18	日	在宅当番医	浅川南診療所 (浅川町)
19	月		
20	火	在宅当番医	ひらた中央病院 (平田村)
21	水		
22	木	3歳3か月児健診 (13:00～)	保健センター
23	金	小学校卒業式	各校
24	土	第一、第二、野木沢保育所満了式	
25	日	在宅当番医	ひらた中央病院 (平田村)
26	月	沢田児童館満了式	
27	火		
28	水	1歳児教室 (9:30～)	保健センター
29	木		
30	金		
31	土		

1	日	在宅当番医 新入消防団員及び幹部研修会	添田医院 母畑レークサイド センター
2	月	麻しん・風しん予防接種 (13:00～) 東日本高校強化 ハンドボール大会 (～4日)	保健センター
3	火	第一、第二、野木沢保育所入所式	
4	水	野木沢児童館入所式	
5	木		
6	金	小中学校入学式 麻しん・風しん予防接種 (13:00～)	各校 保健センター
7	土		
8	日	在宅当番医	ひらた中央病院 (平田村)
9	月		
10	火		
11	水	2歳児教室 (9:30～)	保健センター
12	木	3～4か月児健診 (13:00～) BCG予防接種 (13:00～)	保健センター 保健センター
13	金		
14	土	石川桜まつりオープニング 石川桜ロードレース大会	



(平成24年1月1日～1月31日まで届出分 敬称略)

Hello baby



Couple



Condolence



氏名	保護者	住所
緑川 仁 (喜夫・香織)	赤羽	
郷 結楠 (暁・鮎美)	沢井	
草野 悠人 (裕・陸佳微)	曲木	
酒井 陽 (克浩・舞)	谷沢	
瀧口 光希 (翔・美紀)	古舘	
鈴木 陽太 (一樹・雅美)	北町	
白岩 方美 (憲一・裕美)	塩沢	
田子 尊幸 (明良・幸子)	屋敷入	
菊池 莉央奈 (祐平・理奈)	塩沢	
佐藤 歩 (智之・恵子)	中野	
矢吹 太心 (義裕・宏美)	曲木	

新郎新婦 (出身地)
河本 由寛 (双里)・齋藤友美子 (郡山市)
大平 直文 (南山形)・滝川 律子 (双里)
緑川 真人 (塩ノ平)・椎野 麗子 (郡山市)
中村 健文 (塩沢)・渡邊 絵美 (郡山市)
小林 直樹 (北町)・松井 美和 (北山)
有賀 貴矩 (塩沢)・高橋 岬 (塩沢)
遠藤 晃一 (山形)・塩田ありさ (玉川村)

氏名	住所
鈴木 庄二郎	双里
丹内 亀子	長久保
近野 ティ子	鹿ノ坂
星 竹男	双里
齊藤 榮治	大室
佐川 マス子	赤羽
高小 元一	板橋
小龍 原口 秋郎	北母
矢山 吹口 美子	母谷
添小 田林 彰伸	下形
江小 西牧 伸一郎	北新
溝佐 井 八國	赤羽
小 湊 長二郎	赤羽
	キヨ子





第299回  
沢田  
中学校

【施設紹介】

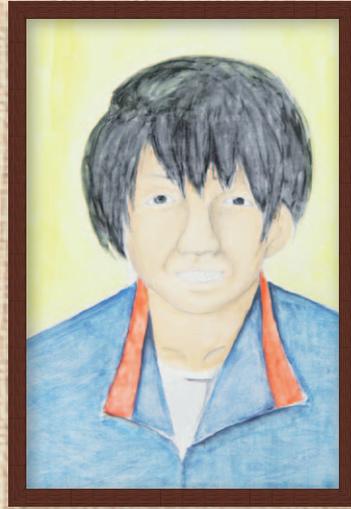
沢田中は、春にはりんごやさくらんぼの花々、夏には緑豊かな田園風景、秋には春の花が実を結んだりんごをはじめとするおいしい果物、冬には越冬のため飛来する白鳥など、四季折々の風物に囲まれた自然豊かなところです。全校生徒47名が、スローガン「今、輝く生徒」のもと、地域の方々に温かく見守られながら、自分の可能性を求め、夢に向かって学習に運動にのびのびと取り組んでいます。

「守ろうかけがえのない地球」



よだ せいや  
吉田 聖也さん  
(3年)

「自分らしさを見つけて」という題材で制作しました。自分の内面を見つめ、自画像として表現できました。



「自画像」



せきね まみ  
関根 茉美さん  
(2年)

「伝えよう大切なこと」という題材で環境を大切にしようという強い思いを、悲しい顔の女性に込めました。



「鳥」

やない たかし  
野内 貴司さん (1年)

「自然の色や形を生かして」という題材で制作しました。鳥の迫力を表す支柱を作るのに苦労しました。



編集後記

3.11から1年…。地震、原発事故、そして放射能汚染。今まで考えたこともなかった出来事がたくさんあり、震災前の平凡だった日々がいかに幸せだったのかと気付かされました。いつもと変わらない「日常」を送っている時はその幸せに気付くことは難しいのですが、失って気付いた今、「平凡な日常」「何もない毎日」を過ごせる幸せを忘れずにいたいと思います。人は痛みを忘れる生き物ですが、私達が味わった巨大地震と原発事故による放射能の恐怖は忘れずに後世に伝え、次代に生かさなければならぬと思います。(矢内 青春)

町民憲章

1. 自然と文化を愛し  
豊かな町をつくりましょう
1. 親切と勤労をむねとし  
住みよい町をつくりましょう
1. 歴史と未来をみつめ  
誇りある町をつくりましょう

みんなで防犯  
子ども防犯呼びかけ隊

●今月の隊長 (広報無線の声)

南山形小学校 6年 小木 優美さん



- Q. 毎日の通学などで防犯に気をつけていることは？
- A. 登下校の時は、いつも友達と一緒に帰るようにしています。一人では帰らないように気をつけています。
- Q. 将来の夢を聞かせてください。
- A. 保育士になって小学校入学前の子どもたちにいるいろ教えてあげたいです。

表紙の写真

石川文化幼稚園に通う遠藤 湊 (かいり) くん (左)、弟の聖 (ひじり) くん (右)、祖父の太さん、祖母の敬恵子さんです。



町の人口

●2月1日現在住民基本台帳●

	17,319人 (△24)
男	8,464人 (△17)
女	8,855人 (△7)
世帯数	5,706戸 (1)

( ) 内前月比